

自民党に新たな風を吹込んだ！自民党中央政治大学院

自民党中央政治大学院長として、これまで自民党と付き合いの少なかった、学生、女性、サラリーマンとの交流に成功しています。我々の考えを伝え、そして皆さんが政治に何を求めているか、この国をどうしたいのか、じっくりと議論を交わすことによって、多くの貴重な場が生まれています。



- ① **23**都道府県に地方政治学校が開校！
- ② 受講生から**次期衆院候補者**が決定！
- ③ 受講者数のべ**2000名**突破！
- ④ 2011統一地方選で**200名超**の受講生が当選！

日本の将来の為に古屋が挑む！この国の重要課題

教育

日本の教育を向上させ、
世界一の教育イノベーションにする

中学校の教科書採択

これまで密室で決められることが多かった学校教科書の選定に大きなメスを入れ、昨夏の中学校の教科書採択では「教科書議連」会長としてその改善に真正面から挑みました。沖縄県八重山地区の教科書採択は、大きなニュースとなりました。

地元核融合研究所所長を国会に初めて招く

衆議院文部科学委員会で、エネルギー政策大転換の研究推進について意見交換を国会の場で行い、研究予算の確保を鋭く大臣に迫りました。

伝統文化こども教室の復活

日本の良き伝統・文化を子ども達に継承させていくための「伝統文化こども教室」に、これまで毎年4200団体の支援を行ってきました。しかし、民主党政権となり、信じられないことに事業仕分けでこの事業は廃止され、こども教室は激減してしまいました。日本の素晴らしい伝統文化を守るのは子ども達です。必ず、活気のあった各地のこども教室を復活させます。



エネルギー

国・経済・生活の根幹
将来への発想の転換を

東日本大震災を期に、エネルギー政策のパラダイムシフトが必然的に起きています。

「脱原発」を叫ぶ感情論には組しません。エネルギー供給のうち、43%を占める産業用については、大規模発電所による供給に頼らざるを得ません。しかし、これからは、28%を占める業務用、29%の家庭用電力は、分散型電源にシフトしていくことが、地域経済の新たなビジネス創生のためにも環境にも大切です。

分散型電源とは、燃料電池や蓄電池、バイオマス、太陽光などを上手くミックスして（いわゆるコージェネなど）、家庭や地域単位で発電していくシステムです。

私がかつて経済産業副大臣を務めていた際に、愛知万博などで実証実験をスタートさせましたが、これを全国的に展開していく計画を推進して参ります。



故宮博物院日本展覧会開催実現へ

2011年3月、私が10年以上取り組んできた「海外美術品等公開促進法案」が成立しました。これにより、日本人が台湾に行くと必ず立寄り、台湾故宮博物院の文物による日本での展覧会が開催可能となりました。法案成立を受け、5月には馬英九総統に招待を受け訪台しました。アジアで初となる、日本での故宮博物院展覧会の早期実現に向け、引き続き努力致します。



米・ルース駐日大使

台湾・馬英九総統(大統領)と会談

憲法

戦後の憲政史上初となる
憲法改正を必ず実現する

大地震など有事の際の対応、領土問題や普天間問題に象徴される安全保障、教育そして拉致問題など、全て解決をしようと考えるときに行き着くのは必ず「憲法」問題です。

私は「憲法96条改正議連」の代表に就任しました。現在、この議連に賛同する国会議員は250名に達しています。

「憲法96条」には、憲法改正するための条件である衆参各2/3以上の賛成無しには、国民投票にすら附することができないと規定されています。この「2/3」を「過半数」に緩和するための改正案を近いうち国会へ提出を目指します。

具体的な憲法改正をするわけではありません。まずは、主権者である国民が、国民投票により憲法議論に主体的に参加できる機会を作るために、96条のみを改正しようということです。

戦後の憲政史上初となる憲法改正に今チャレンジしています。



拉致

拉致は北朝鮮によるテロ
問題解決に一切妥協なし



北朝鮮による拉致は国家テロです。韓国への砲撃や潜水艦撃沈事件、核実験、ミサイルなど幾度となく挑発的行為をしては約束を破ってきた北朝鮮。話し合いで拉致が解決できるようなまともな国では絶対にありません。

拉致問題を解決する方法はただ一つ。日本が、毅然たる態度で対、ヒト、モノの全面制裁をし、北朝鮮と闘い続けることです。妥協なき圧力をかけることで、北朝鮮を交渉のテーブルに座らせるのです。そして金正日が死去した今も、日本はその方針や主張は絶対に妥協してはなりません。

なぜなら過ちを犯しているのは北朝鮮だからです。金正日死去により、吊問外交と称して北朝鮮に日本から宥和策を絶対に働きかけてはなりません。宥和策で解決されないことは過去の歴史が証明しているからです。そして日本が主体的に日米韓の連携強化をすることが不可欠です。

私は、国会議員の先頭に立って拉致を必ず解決します。

積極的な政治外交



拉致議連幹事長として韓国にて国際会議に出席

ダライ・ラマ14世



ブログ・動画・メルマガなどネットでも活動してます。是非ご覧ください！

検索 **古屋圭司**